



楽しい夏休みの思い出づくり 生協子ども診療所

喘息児デイキャンプ開催

7/21(木)四ヶ郷小学校で、恒例の喘息児デイキャンプを開催しました。昨年は台風のため中止となり、今年もその影響が心配されましたが、なんとか無事に行なうことができました。子ども診療所を利用されている小学3~6年生の喘息児を対象に、当日は13名の参加がありました。



地域の組合員さんの協力も得て

午前中は、喘息についての学習と昼食のカレーづくり、午後からは、プール遊びなどを行ないました。

1日を通して、学習と遊びの充実した時間を過ごしました。昼食作りには、地域の組合員さんの協力もいただき、段取りよくすすめられて、みんなで美味しいカレーを食べることができました。子どもたちは、普段診療所へ受診に来るときとは違った、明るく子どもらしい笑顔で、それぞれに夏休みの楽しい思い出づくりになつたことでしょう。これからも引き続き行なっていきたい夏の恒例行事です。(子ども診療所 芦澤事務長)

は、地域の組合員さんの協力もいただき、段取りよくすすめられて、みんなで美味しいカレーを食べることができました。子どもたちは、普段診療所へ受診に来るときとは違った、明るく子どもらしい笑顔で、それぞれに夏休みの楽しい思い出づくりになつたことでしょう。これからも引き続き行なっていきたい夏の恒例行事です。(子ども診療所 芦澤事務長)

直川まつりで恒例の健康チェック

7月23日(土)17時から直川小学校で「直川まつり」がおこなわれました。直川小学校の先生方や地域の方々の協力もあって、今年も



健康チェックの測定をさせていただき多くの方に測定をさせていただきました。測定項目は血圧・体脂肪、骨密度を実施し、54名の方が健康チェックを受けました。健康チェックを受けられた方から「年来でなくて、測定してもらうのが楽しみ」と大変喜ばれています。また、核兵器廃絶の国際署名も59筆集まりました。この健康チェックには、河北支部組合員さん6名と職員3名が参加しました。



県社保学校が開催される

7/21(木)第19回社会保障学校がプラザホープで開催されました。大阪千代田短期大学、山本敏貢副学長が、「安全安心の社会をつくろう～社会保障のあり方を考える～」をテーマに講演しました。山本氏は、社会保障と税の一体改革での医療・介護に見られる改悪のシナリオについて、詳しく述べ、国民にとっては、さらに不安社会が助長される。いま、向こう3軒両隣のご近所づきあいの支えあいが注目され、社会保障を良くしていく運動、小さな地域社保協活動が求められると訴えました。



通信教育の受講を強めましょう!! ×切は7/31

医療生協の「学習活動」は生協運動に組合員さんが主体的に参加し、未来をつくる大切なとりくみとして、通信教育の受講をすすめています。当医療生協では、受講の支援として、受講料の本人負担が入門コースで500円、基礎・専門コース1000円とし、通信教育修了者については、残りの受講料は法人が負担する受講料援助制度を設けています。各地区・事業所で積極的な受講をお願いします。

2011年度
医療福祉生協連の
通信教育のご案内

学びは明日への
確かな一歩



地区名	東	中	南	河西	那賀	海南海草	その他	計
受講目標	100	20	20	20	20	10	10	73
2011/7/27現在	29	7	0	32	0	0	5	

★スケジュール
申込締切 7月31日
受講開始 9月1日